

新入生歓迎企画

山形大学小白川図書館上映会



2019 4/23 Tue
start 14:40

山形国際ドキュメンタリー映画祭 '89
インターナショナル・コンペティション上映作品

『ロッツ・ゲッター』

2019 5/14 Tue
start 14:40

山形国際ドキュメンタリー映画祭 2013
ロバート&フランシス・フラハティ賞（大賞）受賞作品

『我々のものではない世界』

ナチス体制下でユダヤ人の被った大量虐殺は現代史最大の悲劇ですが、イスラエル国家の成立とともに故郷を追われたパレスチナ人の苦難もまた重大なテーマです。それぞれの悲劇を扱ったドキュメンタリー映画の傑作2作品を上映します。

会場 山形大学小白川図書館1F プレゼンテーションエリア（旧シアタールーム）

料金 無料

主催：山形大学 山崎彰研究室／山形大学小白川図書館
協力：認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭



『ロツツ・ゲッター』 監督：アラン・アデルソン、キャスリン・タヴェルナ／アメリカ／1988／103分

テーマは第二次世界大戦とホロコースト。ポーランドを占領したナチス・ドイツは20万人のユダヤ人をロツツ・ゲッターに集めて、奴隷として使役した。ほとんどの者は死の列車に乗せられ、最後まで生き残ったのは、わずか800人だった。残された日記、手記、スチール写真、そしてニュースフィルムなど膨大な資料を集め、この時代の歴史を再現したサスペンス・ドキュメンタリー。



『我々のものではない世界』 監督：マハディ・フレフェル／パレスティナ、アラブ首長国連邦、イギリス／2012／93分

レバノン南部のパレスティナ難民キャンプ、アイン・ヘルワで育ち、現在はデンマークで生活している映像作家。アイン・ヘルワを故郷として愛する彼が毎年里帰りして撮りためた映像に、父の遺したホームビデオなどを織り交ぜ構成された本作には、ある家族の物語と、この数十年のパレスティナの歴史、キャンプ内部の変容が映し出される。仮住まいだったはずの「難民キャンプ」に長年暮らし続けざるをえない人々の現実に、監督が迫る。